

「令和3年度体力向上推進計画書」の策定要領

鳥取県教育委員会事務局体育保健課

1 策定目的

子どもの体力・運動能力の低下傾向に対応するため、各学校において児童生徒の実態や課題を踏まえながら体力向上のための計画を策定し、この計画を活用した取組の実践、評価等を行うサイクルを継続していくことを目的とする。

2 策定方法

令和2年度体力向上推進計画書の評価等を基に児童生徒の課題を把握し、体力向上の取組を計画する。

3 策定についての留意点

- (1) これまでの取組や各学校の実態等を、児童生徒の課題を明らかにした上で重点目標を設定する。特に、本県児童生徒の課題である柔軟性の向上については、必ず取り上げる。また、コロナ禍での取組、課題、成果等も記載する。
- (2) 【重点目標】は、今年度特に大切に取る取組として、1～2項目とする。
- (3) 【測定指標】(数値目標)は、具体的な数値目標を記入する。
 - *柔軟性向上についての県目標値は、長座体前屈で前年度より(昨年度測定を行っていない場合は一昨年度)5cm向上とする。(全国との差2cm+経年の伸び3cm)
 - *柔軟性だけでなく、筋力や投運動など各学校の実態に応じて課題を明確にし、上体起こしやボール投げ等の具体的な数値目標を設定し、バランスの良い体の育成に努める。
 - *数値目標の達成度をどのような方法で評価するのか明確にしておく。

体育保健課が考案した「ワンミニッツ・エクササイズ」は、運動時間が1分間程度と短く、始業前や業間休憩、体育学習の準備運動の一つとして取り組めるエクササイズとなっている。今年度も、パンフレットを全教職員配布するので、ぜひ、活用していただきたい。

- (4) 策定後は、校内で内容を共通理解し、学校教育全体の中で取組を推進する。
 - ※学校保健委員会等を活用し、学校・家庭・地域が連携した取組も検討する。
- (5) 各学校で中間評価の時期を設定し、管理職を含め関係部署が実施状況や効果を検証しながら、成果と課題に応じて取組を改善する。
- (6) 年度末に1年間の実施状況や成果と課題を明らかにし、次年度への対策を練る。
- (7) コロナ禍において、体育的行事の見直しや年間指導計画の変更等があることを踏まえ、それらと関連させながら策定する。

4 その他

- (1) 体育保健課指定の計画書様式(本年度様式)で策定する。
- (2) 取組内容の記入に当たっては、体育保健課ホームページ及び「児童生徒の体力づくり(令和3年3月)」等も参考にする。
 - ※令和3年度体力向上推進計画書の様式は体育保健課ホームページからもダウンロードできる。
<https://www.pref.tottori.lg.jp/120027.htm>